

高橋副總裁、

奏信

三月十四日午後十時

中七十号

改封ヨリ左ノ通奏電被下ナリ

只今倫敦奏行銀行ヨリ鄭重ナル祝電ニ接シ

タリ右ニ封本大臣ノ厚厚ナル谢意ヲ呈スヨリ夫々

傳達セラレタ

ロスケマイルド及ブルドニヨリモ下案ナリ祝電ニ接シ

タルニヨリ及電ヲ発シ置キ又今日衆議院ニ於テ

或議案ヨリ五分利舟公債、奏行ニ舟攻撃的ノ

質問アリタルニ舟改封ハ時機ニ於テ之亦價格ニ於テ也

長通電ヲ得タリト信スルヨリ直ニ答辨セリ

ヨ
大
長
子

時事新報、東京朝日、等三ノ新報ハ多少互付、
評議アリトモ一般ハ歓迎致長クモト認ナリ

東京朝日新聞、東京朝日新聞、東京朝日新聞、

東京朝日新聞、東京朝日新聞、東京朝日新聞、

東京朝日新聞、東京朝日新聞、東京朝日新聞、

東京朝日新聞、東京朝日新聞、東京朝日新聞、

東京朝日新聞、東京朝日新聞、東京朝日新聞、

東京朝日新聞、東京朝日新聞、東京朝日新聞、

東京朝日新聞、東京朝日新聞、東京朝日新聞、

東京朝日新聞、東京朝日新聞、東京朝日新聞、

東京朝日新聞

川口町四丁目

東京朝日新聞

高橋劉編載了

受信

三月十五日午時於村甲

如早

當市受信在号七四日候ハ七四日候ノ後因テ
降分金高返上致ス候多ク、神隔リ謝ス

日本銀行

此係... 銀行... 存款... 利息... 手續... 費... 用... 等... 項... 目... 之... 詳... 情... 請... 向... 本... 行... 洽... 詢... 為... 荷...
此係... 銀行... 存款... 利息... 手續... 費... 用... 等... 項... 目... 之... 詳... 情... 請... 向... 本... 行... 洽... 詢... 為... 荷...

附錄

此係... 銀行... 存款... 利息... 手續... 費... 用... 等... 項... 目... 之... 詳... 情... 請... 向... 本... 行... 洽... 詢... 為... 荷...

高橋別稿載了

受信

三月十五日午分

才五十五号

光緒二十九年
謹感謝人
而傳言
趣直英佛關係者一通致四書

櫻木、椴木、檉木、柳木、楊木、榆木、槐木、柏木、松木、杉木、栗木、柞木、櫟木、榆木、槐木、柏木、松木、杉木、栗木、柞木、櫟木、榆木、槐木、柏木、松木、杉木、栗木、柞木、櫟木

藥材

川芎、羌活、獨活、防風、白芷、川椒、肉桂、木香、乳香、沒藥、蘇合、安息香、降香、降香、降香

地黃、天冬、麥冬、玉竹、沙參、冬蟲夏草、人參、鹿茸、龜板、鱉板、虎骨、豹骨、熊膽、猴棗、狗寶、豬鬃、雞內金、狗寶、豬鬃、雞內金

高橋別總裁了

委任

三月十五日午後四時

凡号 貴電 由号 落字 添田 總裁、出發
 五月 初便 船：取 柱置 し 拙者 廿八日 東京市
 着、上 一日 面談、時間 アレバ 十分ナリ 此際小
 生 出發、当國 人心ニ 取り 最高 意ノ 進退ニ して
 且 添田 總裁ニ 紐育ニ 面會スルハ シツクニ 對
 スル 都合 却テ 宜シカラズ 又 添田 總裁 仕事ノ
 時機、早クシテ 七月 知ラザレハ 十一月 頃ナラズ
 存候

高橋

時錄 地誌

瑞慶：財之川乃正數也其下正數也
其下地合者其地乃正數也其下正數也
其下地合者其地乃正數也其下正數也
其下地合者其地乃正數也其下正數也
其下地合者其地乃正數也其下正數也
其下地合者其地乃正數也其下正數也
其下地合者其地乃正數也其下正數也
其下地合者其地乃正數也其下正數也
其下地合者其地乃正數也其下正數也
其下地合者其地乃正數也其下正數也

地誌

川正十川正十川正

地誌也節數也

紐青 小野監等段ヨリ

長信

中五十四号

當地公債申込款 五〇〇、〇〇〇 内三八五、〇〇〇
ハ借換申込 市債ノ人氣ハ要カラス

一、此項之母之存款、其利息、
由本行、其母之存款、其利息、
其母之存款、其利息、

本行

其母之存款、其利息、

高橋到証裁

奉信

三月十五日午後一時

中七十一号

改封ヨリ左通奉電被命ナリ
 貴君帰朝ニ或ハ公儀ノ用向飛舟タレ上ニ申出
 遍貴地ヲ出発セリテ差又冬之候習ハシ差又ナキ
 楊神野ノ昔此夜、引延オカレタシ又添田茲裁
 ハ四月三日一船便ニテ出発ノ筈ニ舟貴君ハ紐育ニテ
 待合係因ト會候セラレタシ右井上伯ヨリモ特ニ注意
 アリ又兼テ市申越ノ財政代理官ヲ派遣ノ義ハ徐々
 注ヲ始メタリ右方面共田畠異議多ク之

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

高橋利純裁り

要信

三月十六午前八時

中五十六号

貴社より七上号 願来 紐育ニテ 係田 紹裁ニ 面會
スルハ 心フ 氏ト 關係上 不利益ト 相共 同 係田 氏出
発ハ 小生 常系 着信ノ 最止 便ニ 定メラレタシ

田中 啓

東京 日本銀行 支店 東京 日本銀行

支店 東京 日本銀行 支店 東京 日本銀行
支店 東京 日本銀行 支店 東京 日本銀行
支店 東京 日本銀行 支店 東京 日本銀行

支店 東京 日本銀行

支店 東京 日本銀行

支店 東京 日本銀行

高橋別紙裁

三月十四日午後三時

奏信
め号

貴部より五月二日、延平の領事方飛出臣の平定
 か号、仙り保田福裁より四月三日出衆の事
 シツフニ打合セシメタル。昨扱シツフヨリ其未審
 ラ希望スル旨返答あり然レハ生ガ大義大臣ノ希
 望セム所ヲ推察スルニ貴君ト保田ト紐者外ノ
 地方倒くバハシクハ一四ニテ即令令ノ保釋
 一ノ叶申ラズ裁成四月三日ノ候ハハシクハ一
 四月廿一日、保釋定ヤリ

Handwritten text in a vertical column, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is written in cursive and is difficult to decipher.

Handwritten characters, possibly a signature or initials, located at the bottom left of the page.

Handwritten characters, possibly a name or title, located at the bottom left of the page.

(同文)

高橋副總裁

奏儀

三月十六日午後三時半

め号

此電中五六号ノ趣ニ依リ大元大臣ハ此電
 カリニ依リ係田總裁ヨリ四月三日出資ノ事
 ヲシテ打合セシメタルニ所扱ニツクヨリ其未着
 ヲ希望スル旨返電アリ然レニハ生ガ大元大臣ノ
 希望セラレ所ヲ推察スルニ貴君ト係田ト紐着外
 地方例ハハレクハ一四ニテ仰合合ノ中繰合
 ハ叶申向致哉四月三日ノ便ノレクハ一着ハ
 四月三日ノ際定ナリ

Handwritten header text, possibly a date or reference number.

Main body of handwritten text, consisting of several lines of cursive script.

Handwritten text on the left side of the page.

Handwritten text at the bottom of the page.

Handwritten text at the bottom left of the page.

高橋副總裁、

教信

三月十六日午後三時半

才七十二号

改付より左ノ教信ヲ命ゼヨリ

新外債払込、因し通達セシ事項中才四項改付
手取金、之分利付公債証書ヲ以テシ名ヲ運
用動定ニ移ス、取消ス右ノ受入ト同時ニ債
還ノ整理ヲナス部合ナリ

高橋副總裁

奏信

三月十六日午後五時

升号

大臣大臣、財政代理官トシテ、若槻内閣ヲ推薦
 内閣ヲ若槻内閣トシテ、協議シ、累々ニ之ヲ但井
 上伯旅行不在中ニ付、未ク確定ニ至ラズ、拙者
 等、左ノ意味ヲ申進貴君ガ必要ト認メ、向ク
 都合宜敷話置シタシト、内閣方之
 拙者(高橋)ハ、歸心ニ要余ニ接シタリ、就テハ
 口也改行ハ、外債増加ノ事情、鑑ミ、其信用ヲ
 維持シ、妙債所存者、利益ヲ保獲スル為、拙者
 等、建議、基々若槻ニ有力ナル財政代理官ヲ派遣

日本銀行

之置、必要ヲ得、目下其人暨、并テ熟考中ナリ
杜若、信ズル所ニ於、バ、政村ハ多ク、現在トテ、
官者、概シテ、流遣、一、別ニ、次有、一人、擢置、ノ、
ルコトニ、決スルナラ、レ、カ、因、氏、ハ、多、年、大、飛、者、ニ、在、
丘、年、程、法、ノ、政、ニ、專、ラ、因、氏、ノ、担、任、セ、シ、所、ニ、テ、
現、内、閣、成、立、ノ、際、後、擢、セ、シ、テ、次、有、ト、ナ、リ、シ、人、
ナ、リ、政、村、ハ、因、氏、ニ、托、シ、戰、時、程、ノ、政、ニ、其、他、重、要、ノ、
財、政、改、革、案、ヲ、携、リ、調、査、セ、シ、ム、案、ナ、リ、云、々、
而、又、多、秘、氏、ハ、多、ク、伊、心、ニ、在、テ、近、世、欽、州、諸、公、
財、政、改、革、ノ、状、況、ヲ、考、テ、シ、テ、調、査、案、ナ、リ、因、
氏、ト、神、野、其、池、友、ト、因、係、ハ、直、ニ、確、定、ノ、上、
刻、意、セ、ル、之、キ、并、貴、君、ヨ、リ、神、野、氏、ハ、備、テ、
也、因、氏、

高橋副總裁 司

要信

永五十七子

号... 居手... 拂込... 受入... 札... 旧所有者... 手... 残... 事... 而... 系... 知... 札... 成... 成

神... 傳...

此項存款係由外國匯入

其存款之利息由本行代為收存

其存款之利息由本行代為收存

其存款之利息

其存款之利息

其存款之利息

高橋副編纂

手紙

三月十七日午前八時

之号

此電は号み号所手添日編纂四月三日換
 送電要利加九ニテ出電スレバ四月二十日桑
 送着ノ豫定ナリ然ラバ杜若ハ四月二十三日桑
 電送コレアニテ帰朝スルニ改四月二十日次
 桑送ニテ結合スレシ尤モ杜若ハ四月十五日晚
 香波五元イレプレスニテラニヤヤル船室既ニ取極
 向京更ハ早リ要ス

日ノ長行

巨 州 城 : 01-0111

巨 州 城 的 地 理 位 置 在 廣 州 的 東 南 部
廣 州 的 地 理 位 置 在 廣 州 的 東 南 部
廣 州 的 地 理 位 置 在 廣 州 的 東 南 部
廣 州 的 地 理 位 置 在 廣 州 的 東 南 部
廣 州 的 地 理 位 置 在 廣 州 的 東 南 部
廣 州 的 地 理 位 置 在 廣 州 的 東 南 部
廣 州 的 地 理 位 置 在 廣 州 的 東 南 部
廣 州 的 地 理 位 置 在 廣 州 的 東 南 部
廣 州 的 地 理 位 置 在 廣 州 的 東 南 部
廣 州 的 地 理 位 置 在 廣 州 的 東 南 部

廣州

廣州

廣州

高橋副知裁人

泰信

三月十七日午後

しん

其勢元号所手係因獨裁より其端通
四月三日重利所允ニテ生竟可致併テ御存意
ヲ謝スル旨申出有之左様仰来知事下致

一、東京 二、大阪 三、神戶 四、横濱 五、名古屋 六、京都 七、福岡 八、仙台 九、札幌 十、旭川 十一、釧路 十二、青森 十三、秋田 十四、山形 十五、宮城 十六、福島 十七、茨城 十八、栃木 十九、群馬 二十、埼玉 二十一、千葉 二十二、東京

三、東京 四、大阪 五、神戶 六、横濱 七、名古屋 八、京都 九、福岡 十、仙台 十一、札幌 十二、旭川 十三、釧路 十四、青森 十五、秋田 十六、山形 十七、宮城 十八、福島 十九、茨城 二十、栃木 二十一、群馬 二十二、埼玉 二十三、千葉 二十四、東京

四、東京 五、大阪 六、神戶 七、横濱 八、名古屋 九、京都 十、福岡 十一、仙台 十二、札幌 十三、旭川 十四、釧路 十五、青森 十六、秋田 十七、山形 十八、宮城 十九、福島 二十、茨城 二十一、栃木 二十二、群馬 二十三、埼玉 二十四、千葉 二十五、東京

五、東京

東京

1/5 + 1/2 = 3/10

東京 大阪 神戶 横濱 名古屋 京都 福岡 仙台 札幌 旭川 釧路 青森 秋田 山形 宮城 福島 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京

高橋副館長

要領

三月三十日午後七時

中五子(子)

今回ノ五分利升公債募集ニ付協賛銀行(銀行)が
 申込人ヨリ受取ルべき五分利升公債ノ額面六九二〇二〇〇
 此ヲ發行銀行ヨリ政府ニ上納スル現金左通
 三月三十日 三五二一五七
 五月十三日 九一五九之〇
 六月十日 九一五九之〇 七月四日 九一五九之〇
 八月十二日 八九三〇之一 合計三九九三〇九八
 上成此内第一回上納金に發行銀行ノ手数料
 4%則チ四之〇〇〇〇及之五分利升公債額面
 一〇〇〇〇〇〇一磅十志 所為一〇三、八〇三磅ノ差引

タニセナリ又口スチヤントヨリ第一回上納ハ三月二十九
ト被定セリ又借置ル事ハ利升公債利子ハ四月
六日より九月十日迄日割リ以テ支拂事ト由米和
本年度ハ明治三十八年八月十号所為長範書房
若州而名考

明治三十九年八月十号所為長範書房
若州而名考
今圖ハ世心堂ハ江崎縣中津川ハ本館設ル事ハ定メ
キセシメ

明治三十九年

明治三十九年

明治三十九年

其稿刻編載了

要信

三月二十七日午刻

中五十九多

於者三月二十七日午刻
 公債初出製法一圖之件等
 理皮一託又六分利并公債
 以金銀力担勇出強所及
 二月廿一月間者并理事一
 監督之託圖之

以下所列各區之稅務
與前次之稅務無異
其稅率如下
第一區 稅率 10%
第二區 稅率 15%
第三區 稅率 20%
第四區 稅率 25%
第五區 稅率 30%

附錄

日本銀行

日本銀行

高橋副総裁より

馬之信

三月三十一日午後十時

つと

大隈伯、左ノ通傳言サセニ

市信院ノ出版物ハタイリス社ヲ

費用ヲ負担シ同社見込ノ通英米ニ於テ二万部

ヲ委託ルヲラバ原稿ニ対シニ、り、稿位拂得

見込尤モ金件ノ原稿料ヲ見サレバ出版引受

ノ約束ヲス然レズト云フ右ニ同敷其ハ、出版

ノ時様々失セサハ様原稿全部ヲ本年五月末

マデニ在リトシ柳谷花送丹ヲ要ス折返電

報ヲ取返

日ノ長

明治三十九年

本行は明治三十九年四月一日に
 設立され、資本は千萬元に
 定められた。本行の業務は
 銀行業務、信託業務、及び
 各種の金融業務である。本
 行は日本銀行法に基づき、
 政府の監督を受ける。本
 行の本店は東京にあり、支
 店は全国各地に設けられて
 いる。本行は日本の金融界
 に重要な役割を果たしている。

支店

東京

大阪

神戸

吉井理事ヨリ

通信

三月二十三日午後五時

第百一号

当月十号突然紐音ニ生シタル鉄道株ノ暴落
 若即チ富豪恐慌ハ直接間接ノ原因今以テ
 明ナラス同日ベルリンニ引所モ半恐慌就
 動引所モ今モ混乱シ「コンソル」如キ四十
 年未嘗者八十四磅台ニ下リタルモ幸各地
 トモ直ニ回復ニ傾キ大事ナカリシモ當地市場ノ
 神経尚鎮靜セズ前週以來英佛独中央
 銀行金利引上ニ関スル噂アリタル處果シテ本
 日佛國銀行引上ハ三歩ヲ三歩ニ騰貴

や、英米為扱如何にモ、低廉金債流出、強迫甚敷、金融大勢依然、恐急一昨日、發表、ア、ノ、工、之、券、上、公、債、不、景、気、ノ、極、限、日、本、公、債、狀、際、如、此、成、績、年、々、多、ハ、日、本、公、債、美、國、公、衆、ノ、人、望、有、之、証、據、ナ、リ、ト、好、評、嘖、々、傳、若、而、之、日、費、表、延、引、セ、ハ、果、シ、テ、如、何、ナ、リ、シ、ヤ、天、依、夢、賀、ノ、至、日、不、堪、快、

精、也、何、種、金、債、ノ、利、権、延、縮、ノ、時、間、亦、不、可、無、視、也、此、種、利、権、ノ、延、縮、ハ、日、本、公、債、ノ、利、権、ノ、延、縮、ノ、一、部、ト、シ、テ、見、ル、可、ク、也、

well
1911.11.10

1911.11.10

高橋副總裁ヨリ

受信

三月二十三日午前七時

才六千号

佛由之北ヲ奉行ノ公債証券ノ取扱ニ九六文、
三〇法 三月中旬、旧法ニ依リ 税率 1% 七厘稅公
債額面ニ達シ致シ生スルガ、在、通、成、成

日
不
限
行

高橋屋「鶴」出の和紙と紙、刷り紙、

川口「鶴」出の和紙、刷り紙、
高橋屋「鶴」出の和紙、刷り紙、

高橋屋「鶴」出の和紙、刷り紙、

高橋屋

川口「鶴」出の和紙、

高橋屋

高橋屋「鶴」出の和紙、

高橋副總裁ヨリ

受信

三月二十七日午前八時

中六千一第

六分利并公債ヲ以テ拂込リテ又者旅中其他ノ
 事故ニテ公債証券ヲ期日迄ニ銀行銀行ニ納
 付セザル者有之可ク是等ハ銀行銀行ヨリ督促
 上受入次第代理店ノ納付致成有申出致不場
 止受ト付致ニ并同届置致同左様也余知多成

Handwritten text in a cursive script, likely a form or document, written on a page with horizontal lines. The text is arranged in several lines, starting from the top right and moving downwards.

Handwritten characters, possibly a signature or a specific label, located in the middle-left section of the page.

Handwritten characters, possibly a signature or a specific label, located in the middle-right section of the page.

Handwritten characters, possibly a signature or a specific label, located at the bottom of the page.



